

令和8年度 阿倍野区事業計画書

～誰もが住みたい 住み続けたいまち『あべの』の実現～



つながる・備える

人がつながり、安全・安心とにぎわいを未来につなぐまち

育む・学ぶ

こども・若者たちがのびやかに成長できるまち

暮らす・支えあう

誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち

令和8年4月

経営課題1 【人がつながり、安全・安心とにぎわいを未来につなぐまち】

「人と人のつながり」を基礎とする地域コミュニティの維持・活性化に取り組むことで、災害に強く、犯罪・交通事故を防ぎ、安全・安心でにぎわいのある魅力あふれるまちづくりをめざします。

【主なSDGsゴール】



めざす成果及び戦略 1-1 【つながりのあるまちづくり】

【現状と課題】

- ・地域活動協議会による自律的な地域運営に向けて、まちづくりセンターが持つスキルやノウハウを活用することで、取組の増加や自立度は向上していますが、依然として地域活動を担う人材が不足しています。
- ・ライフスタイルの変化等により、地域活動への参加率が減少しています。
- ・地域活動協議会への支援状況により、各地域の実情に即した支援を行う必要があります。
- ・防災の取組や災害避難時の対応、犯罪や交通事故の未然防止において、地域コミュニティの存続は必須です。

【中期的な取組の方向性】

身近な地域のつながりを感じることができるよう地域活動協議会の活動支援、町会加入促進を進めます。また、コミュニティづくりの形成を目的に全区民を対象に、地域活動団体等と協働し、誰もが楽しめる交流の場を提供するとともに、区内外から人が集うまちづくりを進めます。

【評価指標】

事業等の参加者アンケートで、身近な地域でのつながりを実感していると回答した割合：75%以上

7年度	8年度	9年度	10年度

具体的取組1-1-1 【活力ある地域コミュニティづくりの推進】

【現状と課題】

- ・令和6年度に策定した「阿倍野区町会加入促進アクションプラン」に基づき、町会の活動周知、加入促進を行う必要があります。
- ・地域活動協議会を中心にボランティアを募りながら地域活動を行っているものの、地域活動を担う人材が不足しています。
- ・地域の特性に応じた課題解決に向け、組織運営や人材育成などを支援する必要があります。
- ・まちづくりセンターが有する専門的なスキル・ノウハウを活用しながら、地域活動協議会が中心となって、地域のまちづくりのために事業を実施しています。
- ・地域コミュニティ活性化のための事業を充実するとともに、地域活動協議会への支援を効果的に行うなど、全地域一律でなく、地域の実情に即した最適な支援を実施する必要があります。

【概要】

- ・町会への加入促進や多くの住民に地域活動への参加・参画を促すため、効果的な情報発信を行います。
- ・若い世代など幅広い市民参画の促進、新たな担い手の発掘や地域における担い手の育成に向けた事業を実施します。
- ・中間支援組織（まちづくりセンター）を開設し、地域活動協議会（10地域）の自律運営にかかる支援を行います。
- ・地域活動協議会の構成団体の組織強化につながるよう支援します。



【7予算】43,419,000円 【8算定予算】43,061,000円

【町会加入促進ちらし】

主な取組	8年度計画	8年度実績
町会の活動や加入促進について広報紙や区ホームページ等による周知	毎月、通年	
区役所イベント等における町会の活動周知	随時	
地域活動協議会の会計支援、担い手発掘支援	随時	
あべのほっとカフェ（地域活動の情報交換）の開催	2回	
地域活動フォーラムの開催	1回	

具体的取組1-1-2 【人と人とのつながりづくりの推進】

【現状と課題】

あべのカーニバルは53回目、あべのスポーツフェスタは68回目を迎えるにあたり、これまでたくさんの方に参加いただいています。が、より多くの方が参加したくなるような魅力ある取組を行う必要があります。

【概要】

豊かなコミュニティづくりの形成を目的に全区民を対象に、地域活動団体、市民活動団体、企業等、区民ボランティアと協働しながら誰もが楽しめる交流の場を提供します。

【7予算】10,016,000円 【8算定予算】10,528,000円



【あべのカーニバルのポスター】



【あべのスポーツフェスタのポスター】

主な取組	8年度計画	8年度実績
あべのカーニバル(区民まつり)	1回	
あべのスポーツフェスタ(区民体育祭)	1回	
二十歳のつどい	1回	
親子で楽しめるイベントの開催	1回	

めざす成果及び戦略 1-2 【災害に強いまちづくり】

【現状と課題】

- ・南海トラフ巨大地震は、今後30年以内に80%という高い確率で発生が想定されています。
- ・阿倍野区ではすべての地域において「まちなか防災訓練」が行われており、「自助」「共助」が不可欠であることは浸透しつつありますが、若年者層の参加率が低い傾向にあります。
- ・災害に備えて、日頃の備えができていと思う区民の割合が低い傾向にあります。
- ・町会加入率の低下などから、災害直後の地域共助に不可欠である地域住民のつながりを強化する取組が必要です。
- ・将来の自主防災組織の担い手となる若年者層において、防災知識やスキルの向上が必要です。
- ・日頃の備えの重要性や、マンション等を中心とした在宅避難等の新たな避難方法の周知が必要です。

【中期的な取組の方向性】

自助・共助などを通じた防災・減災の仕組みづくりとして、区民一人ひとりが家庭内備蓄など日ごろの備えに加え、地域特性に応じた地域の自主的な防災の取組が実施できるよう支援するとともに、若年者層への防災意識向上に向けた取組を着実に実施します。また、SNSの活用等新たな情報伝達手段の拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進します。

【評価指標】

事業等の参加者アンケートで、災害に備えて、日頃の備えができていと思うと回答した割合：70%以上

7年度	8年度	9年度	10年度

具体的取組1-2-1 【区民の防災力向上】

【現状と課題】

- ・南海トラフ巨大地震発生注意情報が出されるなど、巨大地震発生の危険性は高まっており、区民が巨大地震に対して備える必要があります。
- ・災害に備えて、日頃の備えができていと思う区民の割合は増加傾向にありますが、引き続き日頃の備えの重要性や、マンション等を中心とした在宅避難等の避難方法の周知が必要です。
- ・巨大地震発生後の避難について、在宅避難を可能にする家庭内備蓄の周知、避難所運営の仕組みや町会を中心とする自主防災組織との日頃からのつながりの重要性などについて引き続き周知を行う必要があります。

【概要】

- ・日頃からの備えがあることで在宅避難が可能になることや、災害への備えについて家族で話し合うきっかけとなるための情報をホームページや広報紙、「我が家の防災プランnavi」などを活用し、発信します。
- ・また、防災イベントを通じて、防災訓練や地域防災リーダーの活動を情報発信し、防災意識の向上を図ります。
- ・防災について、役立つ知識や情報を広報紙やホームページなどで発信し、出前講座でも周知します。とりわけ、マンション住民に対しては、マンションの防災対策を考えるうえで重要なポイントや、取組の進め方をまとめた「マンション防災計画作成リーフレット」を活用した出前講座を行います。

【7予算】 354,000円 【8算定予算】 203,000円



【防災プランnavi】



【マンション防災計画リーフレット】

主な取組	8年度計画	8年度実績
防災出前講座の実施	10回	
「我が家の防災プランnavi」を活用した啓発	10回	
マンション防災出前講座、マンション防災計画作成支援	3回	
防災イベントの実施、地域防災活動の周知啓発	2回	
防災の取組等に関するSNSでの発信口	随時	

具体的取組1-2-2 【地域の防災力向上】

【現状と課題】

- ・各地域で、災害時の初期対応を担う自主防災組織による避難所開設訓練やまちなか防災訓練を実施しています。
- ・まちなか防災訓練では、地域住民の参加はあるものの、参加者の固定化や若い世代の参加者が少ないなどの課題を解消し、幅広い世代の参加につながるよう、周知や事業内容の工夫を行う必要があります。
- ・阿倍野区における外国人住民の占める割合が増加しており、災害時の避難所における外国人住民の受け入れ体制を整える必要があります。
- ・地域防災リーダーの初期初動活動の重要性は高まっており、組織の強化やスキルレベル向上などに向けて若い世代のリーダーの確保が非常に重要な問題になっています。

【概要】

- ・まちなか防災訓練や避難所開設訓練を中心とした地域での自主防災活動の取組を支援します。
- ・まちなか防災訓練に若い世代や新たな参加者が増加するようにSNS等を活用して情報発信を行います。
- ・災害時の外国人住民支援を盛り込んだ防災訓練の実施を支援します。

【区政会議委員の意見】

避難所での外国人への対応を想定した訓練を実施してはどうか。

【7予算】 5,109,000円 【8算定予算】 4,560,000円



【まちなか防災訓練】



【地域防災リーダー訓練】

主な取組	8年度計画	8年度実績
まちなか防災訓練の実施支援	10地域	
避難所開設・運営訓練の実施支援	10地域	
防災関連会議の開催	4回	
地域防災リーダー研修(訓練)の実施	1回	
災害時を想定した外国人受け入れ訓練の実施支援	1回	

具体的取組1-2-3 【若年者層の防災力向上】

【現状と課題】

- ・小中学校、とりわけ中学校では、1年生に防災研修、2年生に防災訓練を実施する「防災教育」に取り組んでいますが、若年者層の防災知識向上に向けて引き続き取り組む必要があります。
- ・防災ジュニアリーダーに年2回の体験型訓練(研修)を実施しており、若年者層の防災意識向上やスキル向上の広がりにつながるよう引き続き取り組む必要があります。
- ・大災害発生を想定して、自助・共助の重要性を周知、若年者層の防災意識を高めていく必要があります。

【概要】

- ・中学生など、若年者層の防災意識向上や防災ジュニアリーダーの育成など、防災力向上の取組を進めます。
- ・防災ジュニアリーダーの登録者数増、活動拡大に向けた取組を進めます。

【7予算】 60,000円 【8算定予算】 47,000円



【防災ジュニアリーダー研修】

主な取組	8年度計画	8年度実績
区内小中学校防災研修(訓練)の実施	15回	
防災ジュニアリーダー研修(訓練)の実施	2回	
区ホームページ、広報紙等を活用した防災ジュニアリーダー制度の周知	5回	
オンラインを活用した防災ジュニアリーダー申込の実施	随時	

めざす成果及び戦略 1-3 【犯罪や交通事故を防ぐまちづくり】

【現状と課題】

- ・特殊詐欺の手口が巧妙化、悪質化しています。
- ・街頭犯罪は増加傾向にあり、引き続き注意喚起が必要です。
- ・自転車関連の交通事故や放置自転車の減少に向けた取組を継続して行っています。
- ・特殊詐欺や街頭犯罪等の被害防止に向けて、地域の防犯意識の向上が必要です。
- ・子どもへの犯罪を未然に防止するため、周囲に対する啓発とともに、子ども自身の防犯意識を高める啓発を強化する必要があります。
- ・交通事故防止のため、特に自転車に関する交通ルールの遵守とマナー向上の啓発が必要です。

【中期的な取組の方向性】

事件・事故の被害にあわない、あわせないための意識向上に向け、地域や警察等関係機関と連携し、出前講座の実施や各種広報媒体を使った啓発など、区民の安全を守る取組を進めるとともに、時節、対象に応じた啓発を行います。

【評価指標】

事業等の参加者アンケートで、区役所が警察等と連携して行う防犯・交通安全の各種取組を総合的にみて、街頭犯罪抑止や交通事故防止に役立っていると感じると回答した割合：80%以上

7年度	8年度	9年度	10年度

具体的取組1-3-1 【防犯に関する取組】

【現状と課題】

- ・特殊詐欺被害件数は、増加傾向であり、また手口が巧妙化・悪質化している状況であり、注意喚起が必要です。
- ・街頭犯罪発生件数は、前年と比べ増加傾向です。また、自転車盗の占める割合が依然高い状況であり、注意喚起が必要です。
- ・街頭犯罪や特殊詐欺事案の発生状況をふまえ、地域の防犯意識の向上が求められています。
- ・子どもへの犯罪を未然に防止するため、周囲に対する啓発とともに、子ども自身の防犯意識を高める啓発が必要です。

【概要】

- ・地域安全対策職員による地域巡回、高齢者が特殊詐欺被害にあわないための防犯出前講座や自動通話録音機の無償貸与の周知、園児や児童が被害にあわないための紙芝居等による啓発、防犯教室、みまもり活動を行います。
- ・各種イベントにおける「子ども110番の家」の啓発・募集や、小学校入学説明会にて啓発チラシの配布を行います。

【7予算】1,368,000 円 【8算定予算】1,522,000 円



【防犯出前講座】



【自動通話録音機】

主な取組	8年度計画	8年度実績
ひったくり防止カバー取付キャンペーン	月1回	
地域みまもり隊による地域住民・学校園を対象にした出前講座	18回	
地域みまもり隊による通学路巡回・防犯パトロール	通年	
「子ども110番の家」の周知・啓発	通年	
広報紙やSNSを活用した防犯啓発の実施	通年	

具体的取組1-3-2 【交通安全に関する取組】

【現状と課題】

- ・区内の交通事故発生件数のうち、自転車関連事故件数の割合は前年と比べ増加傾向であり、また、全交通事故発生件数も増加しており、依然注意する必要があります。
- ・自転車関連事故の発生状況等をふまえ、交通ルールの遵守・正しい交通マナーの実践・ヘルメット着用の啓発等を行う必要があります。
- ・自転車運転中のながらスマホや飲酒運転等に関する啓発を行う必要があります

【概要】

- ・児童を対象とした交通安全講習、地域住民、園児・児童を対象とした交通安全出前講座を行います。
- ・自転車利用者に対して、ながらスマホ禁止やヘルメット着用などルールの遵守・マナー向上に向けて、各キャンペーン等にて啓発を実施します。
- ・道路交通法改正に伴い、自転車の交通ルールの再周知など、安全意識を高めるための周知を実施します。
- ・阿倍野警察と連携しながら、外国人住民に向けた交通ルールの周知啓発を進めます。

【区政会議での意見】

外国人住民向けに交通ルールやマナーの周知啓発をしてほしい。

【7予算】556,000 円 【8算定予算】289,000 円



【園児対象交通安全出前講座】【地域住民対象交通安全出前講座】

主な取組	8年度計画	8年度実績
「交通事故をなくす運動」阿倍野区推進本部による推進大会の実施	2回	
阿倍野区身体障がい者団体協議会との街頭啓発活動の実施	2回	
児童を対象とした交通安全講習の実施	11校	
地域住民・園児、児童を対象とした交通安全出前講座の実施	18回	
区内イベント、広報紙、SNSを活用した啓発の実施	通年	

具体的取組1-3-3 【放置自転車に関する取組】

【現状と課題】

- ・区内各駅における自転車撤去台数については、前年に比べ増加傾向です。
- ・安全な歩行空間の確保のため、放置自転車の減少に向け、地域とともに啓発活動等を継続的に実施する必要があります。

【概要】

- ・安全な歩行空間を確保するため、Osaka Metro昭和町駅(文の里駅含む)及び西田辺駅自転車利用適正化検討委員会、ゆめまちロードOSAKAあべのなどとともに、放置自転車の減少に向けた啓発活動を実施します。

【7予算】73,000 円 【8算定予算】49,000 円



【放置自転車啓発活動】

【児童絵画壁面シート】

主な取組	8年度計画	8年度実績
ゆめまちロードOSAKAあべの官民協働会議の開催	1回	
ゆめまちロードOSAKAあべの啓発活動の実施	3回	
Osaka Metro昭和町駅(文の里駅含む)・西田辺駅周辺における啓発活動の実施	10回	
Osaka Metro昭和町駅(文の里駅含む)・西田辺駅周辺自転車適正化検討委員会の開催	2回	
広報紙やSNSを活用した啓発の実施	通年	

めざす成果及び戦略 1-4 【魅力あふれるまちづくり】

【現状と課題】

- ・都市景観資源や「大阪市あきないグランプリ」入賞店舗など、区内の魅力的なスポットを「あべのdakara(宝)」として掲載した「あべのおさんぽmap」の発行や、HPなどを活用した情報発信を行っています。
- ・地域団体による魅力創出イベントなどが数多く開催されており、地域の活性化に関する取組が盛んに行われています。
- ・「阿倍野区が魅力あるまちである」と感じる区民の割合を高める必要があります。
- ・にぎわい創出に向け、区内外へ阿倍野区の魅力をさらにアピールすることが必要です。

【中期的な取組の方向性】

区内外から人が集い、にぎわいあふれるまちづくりを進めるため、区内にある都市景観資源等を「あべのdakara(宝)」※として積極的にアピールするなど、誰もが自慢しなくなる魅力情報の発信に努めるとともに、区内全域の回遊性を高めます。さらに、地域団体や企業等が主催するイベント等を支援し、地域と共にまちのにぎわいづくりに取り組みます。
※景観資源や商店街などの魅力資源、魅力あるお店や商品、区内外に誇れる企業などを、あべのお宝という意味を込めた「あべのdakara(宝)」と命名

【評価指標】

事業等の参加者アンケートで、地域住民・企業等との協働によるにぎわいづくりの取組により「魅力あるまちとなっている」と感じると回答した割合：70%以上

7年度	8年度	9年度	10年度

具体的取組1-4-1 【にぎわいのあるまちづくり】

【現状と課題】

- ・都市景観資源や「大阪市あきないグランプリ」入賞店舗など、区内の魅力的なスポットを掲載した「あべのおさんぽmap」の活用やおさんぽmap外国語版の活用、HPなどを活用した情報発信を行っています。また、区内においても地域団体による魅力創出イベントなどが数多く開催されているなど、区内の活性化に関する取組が盛んに行われています。
- ・都市景観資源等、多数の魅力的なスポットについて積極的にアピールし、にぎわい創出に向け、区内全域の回遊性を高める必要があります。
- ・地域団体・企業等の「あべの」の魅力発信イベント等との協働につなげ、にぎわいづくりに取り組む必要があります。

【概要】

- ・紙媒体のマップ、デジタルマップを活用し、「あべのdakara」を区内外、来訪者へアピールします。

【7予算】 3,614,000 円 【8算定予算】 1,502,000 円



【おさんぽマップ】

主な取組	8年度計画	8年度実績
「あべのdakara」デジタルマップのホームページ掲載	通年	
デジタルスタンプラリーの実施	3か月間	
「おさんぽmap」の活用	通年	
地域団体・企業等によるイベント等の取組の支援	通年	